

科目名	プログラミング言語			担当教官	真鍋 久志		
学年	情報工学科 5 年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	07I05_31090		
学習目標	情報システム で学んだ Visual Basic のプログラミング基礎及び技法を基に、さらに進んだ技法を学習するとともに、Excel のマクロ・VBA についても学習し、実際に様々なアプリケーションを開発できる技能を育成することを学習目標とする。中規模のビジネスアプリケーションプログラムを作成することにより、実践的な情報システム開発者としての技能を養成する。						
進め方	情報システム で学習していない、より高度なコンポーネントに関する例題、練習問題を演習することで様々な技法を習得し、その上で、各自がビジネスアプリケーション課題に取り組み、システム開発者としての能力を高めていく。						
履修要件	情報システム を履修していること						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1.Visual Basic の基礎と標準コントロールの使用法(2)			標準コントロールの使用法の確認 D2:1			
	2.標準コントロールのより高度な機能と概念 1)コントロールの使用法(4) 2)イベント(2) 3)マルチドキュメント(2) 4)メニュー(2) 5)グラフィック処理と各種信号のグラフィック描画(6)			標準コントロールのより高度な機能を理解しその使用法を習得する。 D2:2, E5:2			
	3.ActiveX コントロールの使用法(8)			各種 ActiveX コントロールの使用法を詳細に習得する。 D2:4			
	4.デバッグ技法(2)			デバッグ技法を習得する。 E5:1			
	5.前期末試験(2)						
	6.Excel の基本操作(1)			Excel の基本操作を習得する。 D2:1			
	7.マクロと VBA の基礎(1)			マクロの作成、自動記録、実行について習得する。 D2:1			
	8.マクロの自動記録(2)			マクロの編集とデバッグについて習得する。 D2:2			
	9.VBE の基本操作(2)			プログラミングに必要な基礎知識を習得する。 D2:1			
	10.VBA プログラミングの基礎(4)			セル・シート・ブック・ウインドウの各種操作を習得する。 D2:1			
	11.セル・シート・ウインドウの操作(6)			ユーザーフォームを利用した対話型マクロ及び各種コントロールの使用法を習得する。 D2:2,4			
	12.対話型マクロの作成(6)			ユーザー定義関数の作成法を習得する。 D2:2			
	13.ユーザー定義関数の作成(2)			各自に与えられた課題についてプレゼンテーションする。 E5:2			
	14.演習課題(4)						
	15.学年末試験(2)						
評価方法	定期試験（前期期末及び学年末）を利用して、時間以内に課題プログラムを実際に作成する試験を行い、この結果を 70 %、平常点（出席率、授業態度）を 30 % の比率で総合評価する。						
関連科目	情報システム、情報処理						
教材	教科書：超図解「Excel マクロ & VBA プログラミング」 C&R 研究所著 エクスメディア ：必要によりプリント配布						
備考	特になし						